

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

○ 手城川では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、県、市、住民が一体となって次の手順で「流域治水」を推進する。

【短期 期】平成29年9月及び平成30年7月豪雨相当の降雨に対し床上浸水を解消するため、河道掘削や排水機場の整備、雨水幹線・雨水ポンプ場整備を実施。

【中期・中長期】更に流域全体の安全度を向上させるため、平成7年7月豪雨相当の降雨に対しても床上浸水の解消に向けて引き続き河道掘削等を実施。あわせて逃げ遅れゼロを目指した、浸水想定区域の指定・公表や危険箇所の周知、危機管理型水位計および河川監視カメラの設置等、的確な避難行動につながるようソフト対策の充実を図る。

■事業規模

河川対策 (約92億円)

下水道対策 (約209億円)

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	①洪水氾濫対策	広島県	排水機場ポンプ増設済	河川改修(手城川)	
		福山市	河川改修(谷地川)	100mm/h安心プラン	
	③内水氾濫対策	福山市	雨水排水施設の整備		
	④雨水貯留機能の向上	福山市		雨水貯留施設の浚渫	
		福山市		貯留施設の低水位管理等	
	⑤山地の保水機能の向上	広島県	森林整備、治山事業		
	⑥土砂流出対策	広島県	砂防堰堤等の整備		
被害対象を減少させるための対策	⑦水災害リスクを考慮したまちづくり・住まい方の工夫	福山市	防災指針策定	立地適正化計画の改定・運用	
		福山市	開発許可の厳格化済	浸水ハザードエリア等における開発許可の厳格化の運用	
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	⑧ハザードマップの作成・周知	福山市、(広島県)	洪水ハザードマップ作成	出前講座等にて周知	
	⑨高齢者等避難の実効性の確保	福山市		内水ハザードマップ作成	要配慮者利用施設の避難確保計画の作成及び活用の促進
	⑩防災体制の強化	広島県、福山市	関係機関との各種連携		

気候変動を踏まえた
更なる対策を推進

プロジェクト進捗度の考え方

- PHASE1 流域の関係者が治水対策を進めている段階
- PHASE2 流域のあらゆる関係者が様々な治水対策を進めている段階
- PHASE3 流域で流量を分担するなどし、流域のあらゆる関係者が様々な治水対策を計画的に進めている段階

○平成30年7月豪雨をはじめとした近年の大規模な豪雨災害や、気候変動による豪雨の頻発化・激甚化が懸念されていること、黒瀬川流域において市街化が進み土地利用形態が大きく変化していること等を踏まえ、流域の関係者が協働して総合的な治水対策を実施することで浸水被害の解消を図る。
○堤防や河道掘削等河川整備のほか、田んぼダムやため池を活用した雨水の貯留などの流域対策を推進し氾濫をできるだけ防ぐ。
○氾濫した場合を想定して土地利用規制や居住誘導、不動産取引時のリスク情報提供などを実施することにより、被害対象を減少させる。
○河川情報の充実やハザードマップの作成・周知、出前講座の実施などにより、確実な避難や経済被害の軽減、早期復旧復興に努める。

■氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

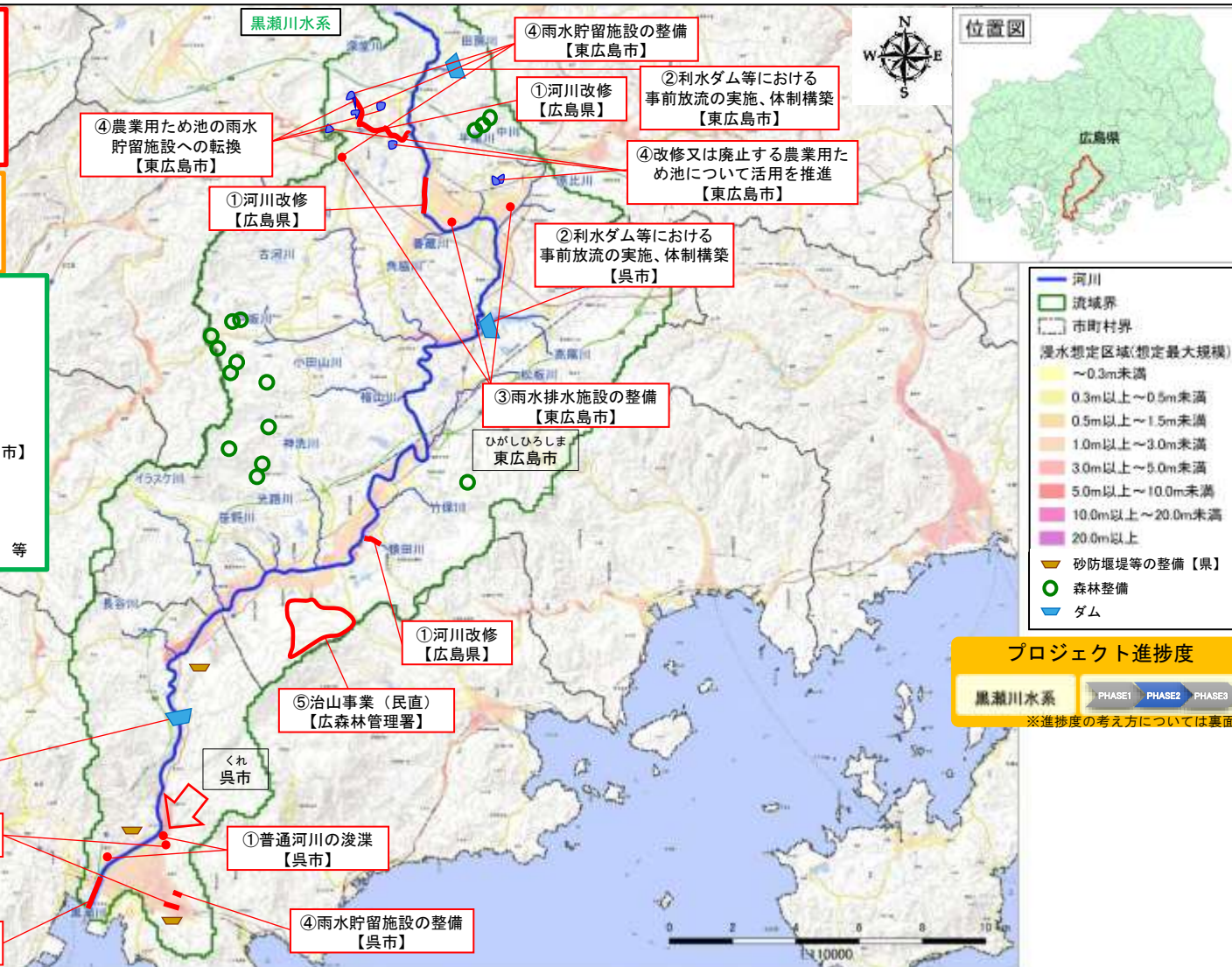
- ①洪水氾濫対策【広島県、呉市、東広島市】
- ②ダムの洪水調節機能の強化【呉市、東広島市、中国電力(株)】
- ③内水氾濫対策【呉市、東広島市】
- ④雨水貯留機能の向上【呉市、東広島市】
- ⑤山地の保水機能の向上【広島県、広島森林管理署、森林整備センター】
- ⑥土砂流出対策【広島県】

■被害対象を減少させるための対策

- ⑦水災害リスクを考慮したまちづくり・住まい方の工夫
 - ・立地適正化計画の改定・運用【呉市、東広島市】
 - ・浸水ハザードエリア等における開発許可の厳格化【呉市、東広島市】等

■被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- ⑧ハザードマップの作成・周知
 - ・洪水・内水ハザードマップの作成・周知【呉市、東広島市】
 - ・3Dマップによる防災情報の発信【呉市】
 - ・河川監視カメラの設置【呉市、東広島市】
 - ・出前講座等を活用した防災教育【広島県、呉市、東広島市】
 - ・マイ・タイムラインの作成及び活用の促進【呉市、東広島市】
- ⑨高齢者等避難の実効性の確保
 - ・要配慮者利用施設の避難確保計画の作成及び活用の促進【呉市、東広島市】
 - ・避難行動要支援者への支援【呉市、東広島市】
- ⑩防災体制の強化
 - ・情報伝達手段の多重化【呉市、東広島市】
 - ・水防訓練の実施【呉市、東広島市】
 - ・関係機関との各種連携【広島県、呉市、東広島市】



※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

- 黒瀬川では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、県、市、住民が一体となって次の手順で「流域治水」を推進する。
- 【短期】平成30年7月豪雨をはじめとした近年の大規模な豪雨災害に対し、再度災害防止を最優先として治水対策を実施。
- 【中期・中長期】更に流域全体の安全度を向上させるため、引き続き治水対策を実施。あわせて、立地適正化計画等に基づく水災害リスクを考慮したまちづくりの推進や、ハザードマップの作成・周知等、的確な避難行動につなげるためのソフト対策の充実を図る。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	①洪水氾濫対策	広島県	高潮対策		
		呉市、東広島市	河川改修		
	②ダムの洪水調節機能の強化	呉市、東広島市、中国電力（株）	浸水ハザードエリア等における開発許可の厳格化の運用		
			利水ダム等における事前放流の実施、体制構築（三永ダム、田房ダム、二級ダム）		
	③内水氾濫対策	呉市、東広島市	雨水排水施設の整備【呉市、東広島市】		
		呉市	雨水排水施設の長寿命化、耐水化【呉市】		
	④雨水貯留機能の向上	呉市、東広島市	農業用水利施設の整備		
		東広島市	雨水貯留施設の整備【呉市、東広島市】		
		東広島市	農地等の保全		
		東広島市	貯留施設の低水位管理等		
被害対象を減少させるための対策	⑦水災害リスクを考慮したまちづくり・住まい方の工夫	呉市、東広島市	改修又は廃止する農業用ため池について活用を推進 農業用ため池の雨水貯留施設への転換		
		呉市、東広島市	森林整備、治山事業		
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	⑤山地の保水機能の向上	広島県、広島森林管理署、森林整備センター	砂防堰堤等の整備		
	⑥土砂流出対策	広島県	防災指針策定		
	⑧ハザードマップの作成・周知	呉市、東広島市、（広島県）	立地適正化計画の改定・運用		
		呉市、東広島市	開発許可の厳格化済		
	⑨高齢者等避難の実効性の確保	呉市、東広島市	浸水ハザードマップ作成済【呉市、東広島市】		
		呉市、東広島市	内水ハザードマップ作成【呉市】		
	⑩防災体制の強化	広島県、呉市、東広島市	内水ハザードマップ作成済【東広島市（西条、寺家排水区）】		

気候変動を踏まえた、
更なる対策を推進

プロジェクト進捗度の考え方

- PHASE1 流域の関係者が治水対策を進めている段階
- PHASE2 流域のあらゆる関係者が様々な治水対策を進めている段階
- PHASE3 流域で流量を分担するなどし、流域のあらゆる関係者が様々な治水対策を計画的に進めている段階

- 平成30年7月豪雨をはじめとして、近年、浸水被害が頻発している本川水系では、平成30年7月豪雨を目標とする整備計画の実施に加えて、特定都市河川浸水被害対策法に基づく対策等を推進していくことで、流域における浸水被害の解消を図る。
- 堤防や河道掘削等河川整備のほか、田んぼダムやため池を活用した雨水の貯留などの流域対策を推進し氾濫をできるだけ防ぐ。
- 氾濫した場合を想定して土地利用規制や居住誘導、不動産取引時のリスク情報提供などを実施することにより、被害対象を減少させる。
- 河川情報の充実やハザードマップの作成・周知、出前講座の実施などにより、確実な避難や経済被害の軽減、早期復旧復興に努める。

■氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- ①洪水氾濫対策【広島県、竹原市】
②ダムの洪水調節機能の強化※この水系にダムはありません。
③内水氾濫対策【竹原市】
④雨水貯留機能の向上【竹原市】
⑤山地の保水機能の向上【広島県】
⑥土砂流出対策【広島県】

等

■被害対象を減少させるための対策

- ⑦水災害リスクを考慮したまちづくり・住まい方の工夫
・立地適正化計画の改定・運用【竹原市】

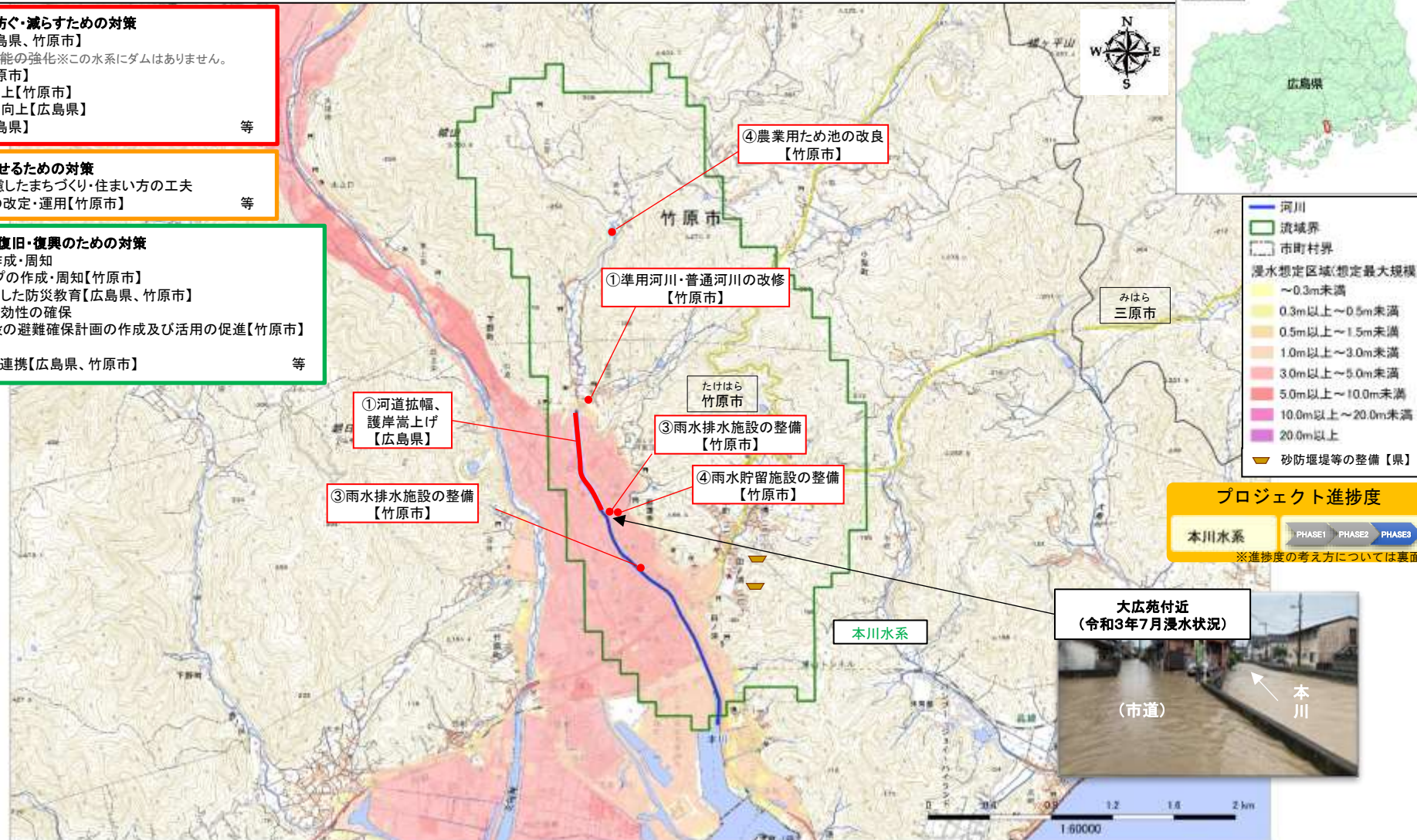
等

■被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- ⑧ハザードマップの作成・周知
・洪水ハザードマップの作成・周知【竹原市】
・出前講座等を活用した防災教育【広島県、竹原市】
⑨高齢者等避難の実効性の確保
・要配慮者利用施設の避難確保計画の作成及び活用の促進【竹原市】
⑩防災体制の強化
・関係機関との各種連携【広島県、竹原市】

等

位置図



プロジェクト進捗度

本川水系

PHASE1 PHASE2 PHASE3

※進捗度の考え方については裏面

大広苑付近
(令和3年7月浸水状況)

(市道)

本川

○ 本川では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、県、市、住民が一体となって次の手順で「流域治水」を推進する。

【短期】平成30年7月豪雨相当の洪水から床上浸水被害を解消するため、河道掘削や土砂流出対策等の治水対策を実施。

【中期・中長期】平成30年7月豪雨相当の洪水を安全に流下させるため、引き続き治水対策を実施。あわせて、立地適正化計画等に基づく水災害リスクを考慮したまちづくりの推進や、ハザードマップの作成・周知等、的確な避難行動につなげるためのソフト対策の充実を図る。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	①洪水氾濫対策	広島県	河道拡幅、護岸嵩上げ(本川)		
		竹原市	普通河川の改修		
	③内水氾濫対策	竹原市	雨水排水施設の整備		
	④雨水貯留機能の向上	竹原市	農業用ため池の改良		
	⑤山地の保水機能の向上	広島県	森林整備、治山事業		
	⑥土砂流出対策	広島県	砂防堰堤等の整備		
被害対象を減少させるための対策	⑦水災害リスクを考慮したまちづくり・住まい方の工夫	竹原市	防災指針策定		
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	⑧ハザードマップの作成・周知	竹原市、(広島県)	洪水・内水ハザードマップ作成		
	⑨高齢者等避難の実効性の確保	竹原市	要配慮者利用施設の避難確保計画の作成及び活用促進		
	⑩防災体制の強化	広島県、竹原市	関係機関との各種連携		



プロジェクト進捗度の考え方

- PHASE1 流域の関係者が治水対策を進めている段階
- PHASE2 流域のあらゆる関係者が様々な治水対策を進めている段階
- PHASE3 流域で流量を分担するなどし、流域のあらゆる関係者が様々な治水対策を計画的に進めている段階

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

～頻発化・激甚化する豪雨からいのちを守る流域治水対策の推進～

- 平成30年7月豪雨をはじめとした近年の大規模な豪雨災害や、気候変動による豪雨の頻発化・激甚化が懸念されていることを踏まえ、事前防災対策を進める必要がある。
- 堤防や河道掘削等河川整備のほか、田んぼダムやため池を活用した雨水の貯留などの流域対策を推進し氾濫をできるだけ防ぐ。
- 氾濫した場合を想定して土地利用規制や居住誘導、不動産取引時のリスク情報提供などを実施することにより、被害対象を減少させる。
- 河川情報の充実やハザードマップの作成・周知、出前講座の実施などにより、確実な避難や経済被害の軽減、早期復旧復興に努める。

■氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- ①洪水氾濫対策【広島県、廿日市市】
- ②ダム等の洪水調節機能の強化※この水系にダムはありません。
- ③内水氾濫対策【廿日市市】
- ④雨水貯留機能の向上
- ⑤山地の保水機能の向上【広島県】
- ⑥土砂流出対策【広島県、国】

等

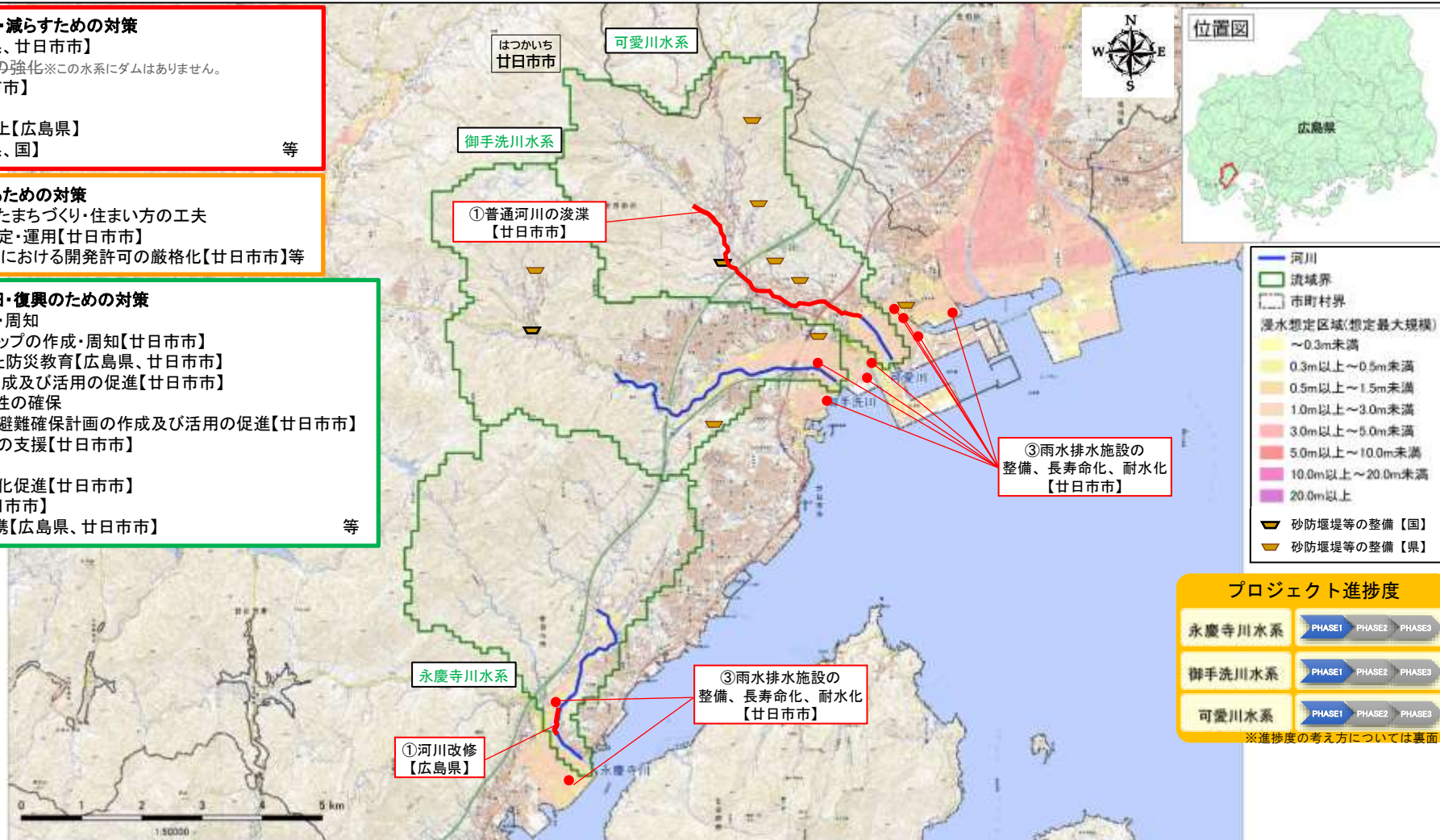
■被害対象を減少させるための対策

- ⑦水災害リスクを考慮したまちづくり・住まい方の工夫
- ・立地適正化計画の改定・運用【廿日市市】
- ・浸水ハザードエリア等における開発許可の厳格化【廿日市市】等

■被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- ⑧ハザードマップの作成・周知
- ・洪水・内水ハザードマップの作成・周知【廿日市市】
- ・出前講座等を活用した防災教育【広島県、廿日市市】
- ・マイ・タイムラインの作成及び活用の促進【廿日市市】
- ⑨高齢者等避難の実効性の確保
- ・要配慮者利用施設の避難確保計画の作成及び活用の促進【廿日市市】
- ・避難行動要支援者への支援【廿日市市】
- ⑩防災体制の強化
- ・情報伝達手段の多重化促進【廿日市市】
- ・水防訓練の実施【廿日市市】
- ・関係機関との各種連携【広島県、廿日市市】

等



※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

～頻発化・激甚化する豪雨からいのちを守る流域治水対策の推進～

- 永慶寺川・御手洗川・可愛川では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、国、県、市、住民が一体となって次の手順で「流域治水」を推進する。
- 【短期】平成30年7月豪雨をはじめとした近年の大規模な豪雨災害に対し、再度災害防止を最優先として治水対策を実施。
- 【中期・中長期】更に流域全体の安全度を向上させるため、引き続き治水対策を実施。あわせて、立地適正化計画等に基づく水災害リスクを考慮したまちづくりの推進や、ハザードマップの作成・周知等、的確な避難行動につなげるためのソフト対策の充実を図る。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	①洪水氾濫対策	広島県	河川改修		
		廿日市市	普通河川の浚渫		
	③内水氾濫対策	廿日市市	雨水排水施設の耐水化 雨水排水施設の整備、長寿命化		
	⑤山地の保水機能の向上	広島県	森林整備、治山事業		
	⑥土砂流出対策	広島県、国	砂防堰堤等の整備		
被害対象を減少させるための対策	⑦水災害リスクを考慮したまちづくり・住まい方の工夫	廿日市市	防災指針策定 立地適正化計画の改定・運用		
		廿日市市	開発許可の厳格化済 浸水ハザードエリア等における開発許可の厳格化の運用		
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	⑧ハザードマップの作成・周知	廿日市市、(広島県)	洪水ハザードマップ作成 出前講座等にて周知		
	⑨高齢者等避難の実効性の確保	廿日市市	内水ハザードマップ作成 要配慮者利用施設の避難確保計画の作成及び活用の促進		
	⑩防災体制の強化	広島県、廿日市市	関係機関との各種連携		

気候変動を踏まえた
更なる対策を推進

プロジェクト進捗度の考え方

- PHASE1 流域の関係者が治水対策を進めている段階
- PHASE2 流域のあらゆる関係者が様々な治水対策を進めている段階
- PHASE3 流域で流量を分担するなどし、流域のあらゆる関係者が様々な治水対策を計画的に進めている段階

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

【位置図】

～頻発化・激甚化する豪雨からいのちを守る流域治水対策の推進～

- 平成30年7月豪雨をはじめとした近年の大規模な豪雨災害や、気候変動による豪雨の頻発化・激甚化が懸念されていることを踏まえ、事前防災対策を進める必要がある。
- 堤防や河道掘削等河川整備のほか、田んぼダムやため池を活用した雨水の貯留などの流域対策を推進し氾濫をできるだけ防ぐ。
- 河川情報の充実やハザードマップの作成・周知、出前講座の実施などにより、確実な避難や経済被害の軽減、早期復旧復興に努める。

■氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- ①洪水氾濫対策
- ②ダムの洪水調節機能の強化※この水系にダムはありません。
- ③内水氾濫対策【江田島市】
- ④雨水貯留機能の向上
- ⑤山地の保水機能の向上【広島県】
- ⑥土砂流出対策

等

■氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

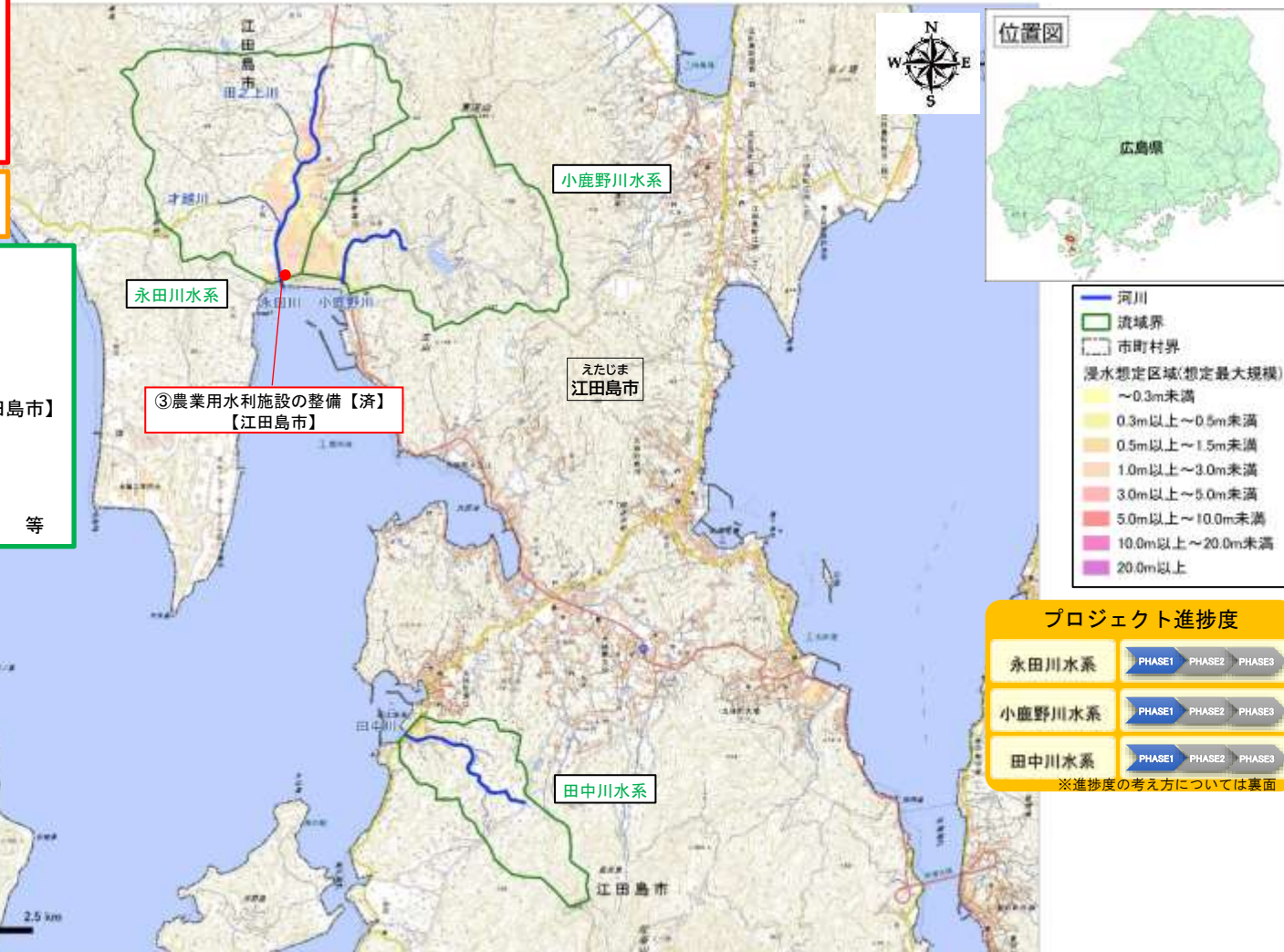
- ⑦水災害リスクを考慮したまちづくり・住まい方の工夫

等

■被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- ⑧ハザードマップの作成・周知
 - ・洪水ハザードマップの作成・周知【江田島市】
 - ・出前講座等を活用した防災教育【広島県、江田島市】
 - ・マイ・タイムラインの作成及び活用の促進【江田島市】
- ⑨高齢者等避難の実効性の確保
 - ・要配慮者利用施設の避難確保計画の作成及び活用の促進【江田島市】
 - ・避難行動要支援者への支援【江田島市】
- ⑩防災体制の強化
 - ・情報伝達手段の多重化促進【江田島市】
 - ・水防訓練の実施【江田島市】
 - ・関係機関との各種連携【広島県、江田島市】

等



※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

○ 永田川・小鹿野川・田中川では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、県、市、住民が一体となって次の手順で「流域治水」を推進する。

【短期】平成30年7月豪雨をはじめとした近年の大規模な豪雨災害に対し、再度災害防止を最優先として治水対策を実施。

【中期・中長期】更に流域全体の安全度を向上させるため、引き続き治水対策を実施。あわせて、水災害リスクを考慮したまちづくりの推進や、ハザードマップの作成・周知等、的確な避難行動につなげるためのソフト対策の充実を図る。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	③内水氾濫対策	江田島市	農業用水利施設の整備		
	⑤山地の保水機能の向上	広島県	森林整備、治山事業		
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	⑧ハザードマップの作成・周知	江田島市、 (広島県)	洪水ハザードマップ作成済		出前講座等にて周知
	⑨高齢者等避難の実効性の確保	江田島市	要配慮者利用施設の避難確保計画の作成及び活用の促進		
	⑩関係機関との各種連携	広島県、江田島市	関係機関との各種連携		

気候変動を踏まえ、
更なる対策を推進。

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

プロジェクト進捗度の考え方

- PHASE1 流域の関係者が治水対策を進めている段階
- PHASE2 流域のあらゆる関係者が様々な治水対策を進めている段階
- PHASE3 流域で流量を分担するなどし、流域のあらゆる関係者が様々な治水対策を計画的に進めている段階

○平成30年7月豪雨をはじめとした近年の大規模な豪雨災害や、気候変動による豪雨の頻発化・激甚化が懸念されていることを踏まえ、事前防災対策を進める必要がある。
○堤防や河道掘削等河川整備のほか、田んぼダムやため池を活用した雨水の貯留などの流域対策を推進し氾濫をできるだけ防ぐ。
○氾濫した場合を想定して土地利用規制や居住誘導、不動産取引時のリスク情報提供などを実施することにより、被害対象を減少させる。
○河川情報の充実やハザードマップの作成・周知、出前講座の実施などにより、確実な避難や経済被害の軽減、早期復旧復興に努める。

■氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- ①洪水氾濫対策【広島県、広島市、海田町、熊野町】
- ②ダム洪水調節機能の強化※この水系にダムはありません。
- ③内水氾濫対策【広島市、海田町、熊野町、坂町】
- ④雨水貯留機能の向上【広島市】
- ⑤山地の保水機能の向上【広島県、広島森林管理署、森林整備センター】
- ⑥土砂流出対策【広島県、国】等

■被害対象を減少させるための対策

- ⑦水災害リスクを考慮したまちづくり・住まいの工夫
 - ・立地適正化計画の策定(改定)・運用【広島市、海田町、熊野町【済】】
 - ・止水板の設置に対する助成【広島市、海田町】等

広島市安芸区瀬野付近
(平成30年7月浸水状況)

JR瀬野駅



※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

- 瀬野川・矢野川・総頭川・尾崎川では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、国、県、市町、住民が一体となって次の手順で「流域治水」を推進する。
- 【短期】平成30年7月豪雨をはじめとした近年の大規模な豪雨災害に対し、再度災害防止を最優先として治水対策を実施。
- 【中期・中長期】更に流域全体の安全度を向上させるため、引き続き治水対策を実施。あわせて、立地適正化計画等に基づく水災害リスクを考慮したまちづくりの推進や、ハザードマップの作成・周知等、的確な避難行動につなげるためのソフト対策の充実を図る。

区分	対策内容	実施主体	工程			
			短期	中期	中長期	
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	①洪水氾濫対策	広島県	河川改修(熊野川) → 高潮対策(瀬野川)・河川改修(尾崎川)			
		広島市、海田町、熊野町	普通河川の改修【熊野町、海田町(済)】、浚渫【熊野町】 → 普通河川の改修、浚渫【広島市】			
	③内水氾濫対策	広島市、海田町、坂町	雨水排水施設の整備【海田町】、改築・長寿命化・耐水化【広島市】、耐水化【坂町】 → 雨水排水施設の長寿命化【坂町】			
		熊野町	農業用水利施設の整備			
	④雨水貯留機能の向上	広島市	雨水貯留施設の浚渫			
		広島市	農地等の保全			
	⑤山地の保水機能の向上	広島県、広島森林管理署、森林整備センター	森林整備、治山事業			
	⑥土砂流出対策	広島県、国	砂防堰堤等の整備			
被害対象を減少させるための対策	⑦水災害リスクを考慮したまちづくり・住まい方の工夫	広島市、海田町、熊野町	防災指針策定済【海田町、熊野町】	防災指針作成中【広島市】	立地適正化計画の改定・運用	
		広島市、海田町	立地適正化計画の策定済・運用【熊野町】			
		止水板の設置に対する助成(内水浸水が対象)				
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	⑧ハザードマップの作成・周知	広島市、海田町、熊野町、坂町、(広島県)	洪水及び内水ハザードマップ作成【広島市、坂町(未定)】 → 土砂災害ハザードマップ作成【広島市】			
			出前講座等にて周知			
	⑨高齢者等避難の実効性の確保	広島市、海田町、熊野町、坂町	洪水・内水ハザードマップ作成済【海田町】 洪水ハザードマップ作成済【熊野町】 → 要配慮者利用施設の避難確保計画の作成及び活用の促進			
	⑩防災体制の強化	広島県、広島市、海田町、熊野町、坂町	関係機関との各種連携			

気候変動を踏まえた
更なる対策を推進

プロジェクト進捗度の考え方

- PHASE1 流域の関係者が治水対策を進めている段階
- PHASE2 流域のあらゆる関係者が様々な治水対策を進めている段階
- PHASE3 流域で流量を分担するなどし、流域のあらゆる関係者が様々な治水対策を計画的に進めている段階

○平成30年7月豪雨をはじめとした近年の大規模な豪雨災害や、気候変動による豪雨の頻発化・激甚化が懸念されていることを踏まえ、事前防災対策を進める必要がある。

○堤防や河道掘削等河川整備のほか、田んぼダムやため池を活用した雨水の貯留などの流域対策を推進し氾濫をできるだけ防ぐ。

○氾濫した場合を想定して土地利用規制や居住誘導、不動産取引時のリスク情報提供などを実施することにより、被害対象を減少させる。

○河川情報の充実やハザードマップの作成・周知、出前講座の実施などにより、確実な避難や経済被害の軽減、早期復旧復興に努める。

■氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- ①洪水氾濫対策【広島市】
- ②ダムの洪水調節機能の強化【広島県】
- ③内水氾濫対策【広島市】
- ④雨水貯留機能の向上【広島市】
- ⑤山地の保水機能の向上【広島県】
- ⑥土砂流出対策【広島県、国】

等

■被害対象を減少させるための対策

- ⑦水災害リスクを考慮したまちづくり・住まい方の工夫
 - ・立地適正化計画の改定・運用【広島市】
 - ・止水板の設置に対する助成【広島市】

等

■被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- ⑧ハザードマップの作成・周知
 - ・洪水・内水・土砂災害ハザードマップの作成・周知【広島市】
 - ・出前講座等を活用した防災教育【広島県、広島市】
 - ・ため池監視カメラの運用【広島市】
- ⑨高齢者等避難の実効性の確保
 - ・要配慮者利用施設の避難確保計画の作成及び活用の促進【広島市】
 - ・避難行動要支援者への支援【広島市】
- ⑩防災体制の強化
 - ・水防訓練の実施【広島市】
 - ・関係機関との各種連携【広島県、広島市】

等



※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

- 八幡川・岡ノ下川では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、国、県、市、住民が一体となって次の手順で「流域治水」を推進する。
- 【短期】平成30年7月豪雨をはじめとした近年の大規模な豪雨災害に対し、再度災害防止を最優先として治水対策を実施。
- 【中期・中長期】更に流域全体の安全度を向上させるため、引き続き治水対策を実施。あわせて、立地適正化計画等に基づく水災害リスクを考慮したまちづくりの推進や、ハザードマップの作成・周知等、的確な避難行動につなげるためのソフト対策の充実を図る。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	①洪水氾濫対策	広島市	普通河川の改修、浚渫		
	②ダムの洪水調節機能の強化	広島県	利水ダム等における事前放流の実施、体制構築(魚切ダム、梶毛ダム)		
	③内水氾濫対策	広島市	雨水排水施設の改築 雨水排水施設の耐水化		
	④雨水貯留機能の向上	広島市	雨水貯留施設の浚渫		
		広島市	農地等の保全		
	⑤山地の保水機能の向上	広島県	森林整備、治山事業		
被害対象を減少させるための対策	⑦水災害リスクを考慮したまちづくり・住まい方の工夫	広島県、国	砂防堰堤等の整備【広島県】	砂防堰堤等の整備【国】	
		広島市	防災指針作成中		立地適正化計画の改定・運用
		広島市			止水板の設置に対する助成(内水浸水が対象)
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	⑧ハザードマップの作成・周知	広島市、(広島県)	洪水、内水及び土砂災害ハザードマップ作成【広島市】		出前講座等にて周知
	⑨高齢者等避難の実効性の確保	広島市			要配慮者利用施設の避難確保計画の作成及び活用の促進
	⑩防災体制の強化	広島県、広島市			関係機関との各種連携

気候変動を踏まえた
更なる対策を推進

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

プロジェクト進捗度の考え方

- PHASE1 流域の関係者が治水対策を進めている段階
- PHASE2 流域のあらゆる関係者が様々な治水対策を進めている段階
- PHASE3 流域で流量を分担するなどし、流域のあらゆる関係者が様々な治水対策を計画的に進めている段階

○平成30年7月豪雨をはじめとした近年の大規模な豪雨災害や、気候変動による豪雨の頻発化・激甚化が懸念されていることを踏まえ、事前防災対策を進める必要がある。

○堤防や河道掘削等河川整備のほか、田んぼダムやため池を活用した雨水の貯留などの流域対策を推進し氾濫をできるだけ防ぐ。

○河川情報の充実やハザードマップの作成・周知、出前講座の実施などにより、確実な避難や経済被害の軽減、早期復旧復興に努める。

■氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- ①洪水氾濫対策
- ②ダムの洪水調節機能の強化※この水系にダムはありません。
- ③内水氾濫対策【呉市】
- ④雨水貯留機能の向上【呉市、大崎上島町】
- ⑤山地の保水機能の向上【広島県】
- ⑥土砂流出対策【広島県】

等

■被害対象を減少させるための対策

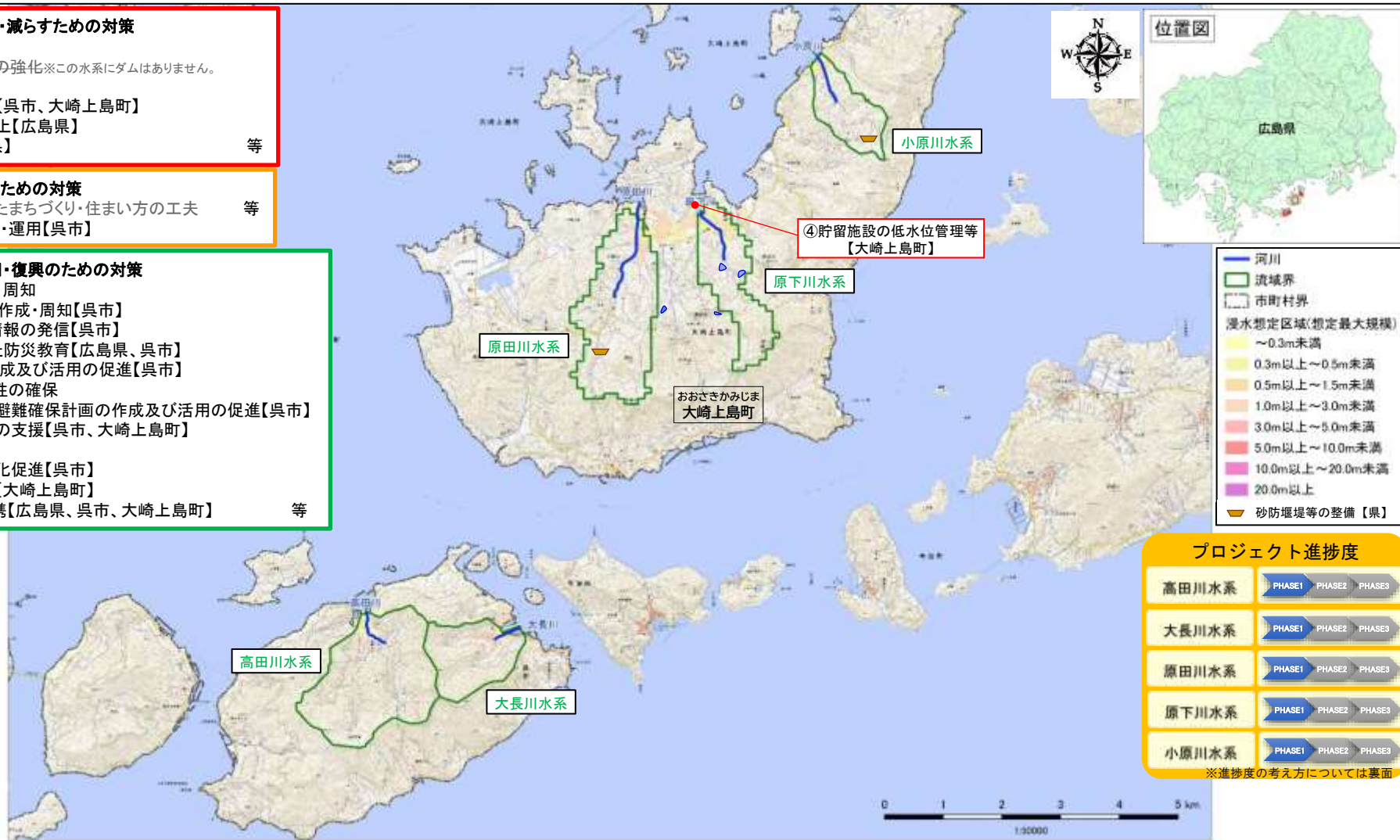
- ⑦水災害リスクを考慮したまちづくり・住まい方の工夫
- ・立地適正化計画の改定・運用【呉市】

等

■被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- ⑧ハザードマップの作成・周知
 - ・洪水ハザードマップの作成・周知【呉市】
 - ・3Dマップによる防災情報の発信【呉市】
 - ・出前講座等を活用した防災教育【広島県、呉市】
 - ・マイ・タイムラインの作成及び活用の促進【呉市】
- ⑨高齢者等避難の実効性の確保
 - ・要配慮者利用施設の避難確保計画の作成及び活用の促進【呉市】
 - ・避難行動要支援者への支援【呉市、大崎上島町】
- ⑩防災体制の強化
 - ・情報伝達手段の多重化促進【呉市】
 - ・防災拠点の浸水対策【大崎上島町】
 - ・関係機関との各種連携【広島県、呉市、大崎上島町】

等



※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

○ 高田川・大長川・原田川・原下川・小原川では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、県、市町、住民が一体となって次の手順で「流域治水」を推進する。

【短期】平成30年7月豪雨をはじめとした近年の大規模な豪雨災害に対し、再度災害防止を最優先として治水対策を実施。

【中期・中長期】更に流域全体の安全度を向上させるため、引き続き治水対策を実施。あわせて、立地適正化計画等に基づく水災害リスクを考慮したまちづくりの推進や、ハザードマップの作成・周知等、的確な避難行動につなげるためのソフト対策の充実を図る。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	③内水氾濫対策	呉市	農業用水利施設の整備		
	④雨水貯留機能の向上	呉市、大崎上島町	農地等の保全		
		大崎上島町	貯留施設の低水位管理等		
	⑤山地の保水機能の向上	広島県	森林整備、治山事業		
	⑥土砂流出対策	広島県	砂防堰堤等の整備		
被害対象を減少させるための対策	⑦水災害リスクを考慮したまちづくり・住まい方の工夫	呉市	防災指針策定	立地適正化計画の改定・運用	
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	⑧ハザードマップの作成・周知	呉市、 (広島県)	洪水ハザードマップ作成済【呉市】	出前講座等にて周知	
	⑨高齢者等避難の実効性の確保	呉市	要配慮者利用施設の避難確保計画の作成及び活用の促進		
	⑩防災体制の強化	広島県、呉市、 大崎上島町	関係機関との各種連携		



※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

プロジェクト進捗度の考え方

- PHASE1 流域の関係者が治水対策を進めている段階
- PHASE2 流域のあらゆる関係者が様々な治水対策を進めている段階
- PHASE3 流域で流量を分担するなどし、流域のあらゆる関係者が様々な治水対策を計画的に進めている段階

～頻発化・激甚化する豪雨からいのちを守る流域治水対策の推進～

- 沼田川・和久原川・西野川では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、県、市、住民が一体となって次の手順で「流域治水」を推進する。
- 【短期】平成30年7月豪雨をはじめとした近年の大規模な豪雨災害に対し、再度災害防止を最優先として治水対策を実施。
- 【中期・中長期】更に流域全体の安全度を向上させるため、引き続き治水対策を実施。あわせて、立地適正化計画等に基づく水災害リスクを考慮したまちづくりの推進や、ハザードマップの作成・周知等、的確な避難行動につなげるためのソフト対策の充実を図る。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	①洪水氾濫対策	広島県	河川改修(天井川、仏通寺川、菅川、梨和川)・堤防強化(済)、高潮対策(沼田川) → 河川改修(杵原川、入野川、沼田川、棕梨川)・浸透対策(沼田川)		
		三原市、東広島市	準用河川・普通河川の改修、浚渫【三原市】 → 普通河川の改修、浚渫【東広島市】		
	②ダムの洪水調節機能の強化	広島県、三原市	利水ダム等における事前放流の実施、体制構築(三河ダム、棕梨ダム、福富ダム)		
	③内水氾濫対策	三原市、東広島市	雨水排水施設の整備、長寿命化、耐水化【三原市】 → 雨水排水施設の整備【東広島市】		
	④雨水貯留機能の向上	三原市、東広島市	農地等の保全		
		広島県	ほ場整備(安宿地区(済)、戸野地区、深見地区) → ほ場整備(東高屋地区)		
		東広島市	貯留施設の低水位管理等		
	⑤山地の保水機能の向上	広島県、広島森林管理署、森林整備センター	森林整備、治山事業		
⑥土砂流出対策	広島県	砂防堰堤等の整備			
被害対象を減少させるための対策	⑦水災害リスクを考慮したまちづくり・住まい方の工夫	東広島市、三原市	防災指針策定【東広島市】	防災指針策定【三原市】	立地適正化計画の改定・運用
		三原市、東広島市	開発許可の厳格化済	浸水ハザードエリア等における開発許可の厳格化の運用	
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	⑧ハザードマップの作成・周知	三原市、東広島市、(広島県)	洪水ハザードマップ作成済【東広島市】 → 出前講座等にて周知		
	⑨高齢者等避難の実効性の確保	三原市、東広島市	洪水・内水ハザードマップ作成【三原市】 → 要配慮者利用施設の避難確保計画の作成及び活用の促進		
	⑩防災体制の強化	広島県、三原市、東広島市	関係機関との各種連携		

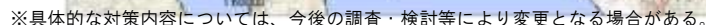
気候変動を踏まえ、
更なる対策を推進

プロジェクト進捗度の考え方

- PHASE1 流域の関係者が治水対策を進めている段階
- PHASE2 流域のあらゆる関係者が様々な治水対策を進めている段階
- PHASE3 流域で流量を分担するなどし、流域のあらゆる関係者が様々な治水対策を計画的に進めている段階

○河川情報の充実やハザードマップの作成・周知、出前講座の実施などにより、確実な避難や経済被害の軽減、早期復旧復興に努める。

等



- 二河川・堺川・大谷川では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、県、市町、住民が一体となって次の手順で「流域治水」を推進する。
- 【短期】平成30年7月豪雨をはじめとした近年の大規模な豪雨災害に対し、再度災害防止を最優先として治水対策を実施。
- 【中期・中長期】更に流域全体の安全度を向上させるため、引き続き治水対策を実施。あわせて、立地適正化計画等に基づく水災害リスクを考慮したまちづくりの推進や、ハザードマップの作成・周知等、的確な避難行動につなげるためのソフト対策の充実を図る。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	①洪水氾濫対策	広島県	河川改修(二河川、大谷川)		
		熊野町	普通河川の改修、浚渫		
	②ダム洪水調節機能の強化	呉市	利水ダム等における事前放流の実施、体制構築(本庄ダム)		
	③内水氾濫対策	呉市	雨水排水施設の長寿命化(二河川水系、堺川水系)、整備・耐水化(大谷川水系)		
		呉市、熊野町	農業用水利施設の整備【呉市】・農業用水利施設の整備【熊野町】		
	⑤山地の保水機能の向上	広島県	森林整備、治山事業		
被害対象を減少させるための対策	⑦水災害リスクを考慮したまちづくり・住まい方の工夫	広島県	砂防堰堤等の整備		
		呉市、熊野町	防災指針策定【済】【熊野町】		
		呉市	立地適正化計画の策定【済】・運用【熊野町】		
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	⑧ハザードマップの作成・周知	呉市、熊野町、(広島県)	洪水ハザードマップ作成済【呉市、熊野町】		
		呉市	内水ハザードマップ作成【呉市】		
	⑨高齢者等避難の実効性の確保	呉市、熊野町	要配慮者利用施設の避難確保計画の作成及び活用の促進		
	⑩防災体制の強化	広島県、呉市、熊野町	関係機関との各種連携		

気候変動を踏まえた
更なる対策を推進。

プロジェクト進捗度の考え方

- PHASE1 流域の関係者が治水対策を進めている段階
- PHASE2 流域のあらゆる関係者が様々な治水対策を進めている段階
- PHASE3 流域で流量を分担するなどし、流域のあらゆる関係者が様々な治水対策を計画的に進めている段階

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

流域治水プロジェクト【位置図】

～頻発化・激甚化する豪雨からいのちを守る流域治水対策の推進～

- 平成30年7月豪雨をはじめとした近年の大規模な豪雨災害や、気候変動による豪雨の頻発化・激甚化が懸念されていることを踏まえ、事前防災対策を進める必要がある。
- 堤防や河道掘削等河川整備のほか、田んぼダムやため池を活用した雨水の貯留などの流域対策を推進し氾濫をできるだけ防ぐ。
- 氾濫した場合を想定して土地利用規制や居住誘導、不動産取引時のリスク情報提供などを実施することにより、被害対象を減少させる。
- 河川情報の充実やハザードマップの作成・周知、出前講座の実施などにより、確実な避難や経済被害の軽減、早期復旧復興に努める。

■氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- ①洪水氾濫対策【広島県、竹原市、東広島市】
- ②ダムの洪水調節機能の強化【広島県、東広島市】
- ③内水氾濫対策【呉市、竹原市】
- ④雨水貯留機能の向上【呉市、竹原市、東広島市】
- ⑤山地の保水機能の向上【広島県、森林整備センター】
- ⑥土砂流出対策【広島県】

■被害対象を減少させるための対策

- ⑦水災害リスクを考慮したまちづくり・住まい方の工夫
- ・立地適正化計画の改定・運用【呉市、竹原市、東広島市】等
- ・浸水ハザードエリア等における開発許可の厳格化【東広島市】等

■被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- ⑧ハザードマップの作成・周知
- ・洪水・内水ハザードマップの作成・周知【呉市、竹原市、東広島市】
- ・3Dマップによる防災情報の発信【呉市】
- ・河川監視カメラの設置【東広島市】
- ・出前講座等を活用した防災教育【広島県、呉市、竹原市、東広島市】
- ・マイ・タイムラインの作成及び活用の促進【呉市、東広島市】
- ⑨高齢者等避難の実効性の確保
- ・要配慮者利用施設の避難確保計画の作成及び活用の促進【呉市、竹原市、東広島市】
- ・避難行動要支援者への支援【呉市、東広島市】
- ⑩防災体制の強化
- ・情報伝達手段の多重化促進【呉市、東広島市】
- ・水防訓練の実施【呉市、東広島市】
- ・関係機関との各種連携【広島県、呉市、竹原市、東広島市】



※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

○ 木谷郷川・賀茂川・高野川・蛇道川・三津大川では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、県、市、住民が一体となって次の手順で「流域治水」を推進する。

【短期】平成30年7月豪雨をはじめとした近年の大規模な豪雨災害に対し、再度災害防止を最優先として治水対策を実施。

【中期・中長期】更に流域全体の安全度を向上させるため、引き続き治水対策を実施。あわせて、立地適正化計画等に基づく水災害リスクを考慮したまちづくりの推進や、ハザードマップの作成・周知等、的確な避難行動につなげるためのソフト対策の充実を図る。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	①洪水氾濫対策	広島県	河川改修(賀茂川) 河道拡幅、護岸整備(三津大川)		
		竹原市、東広島市	普通河川の改修、浚渫【竹原市(在屋川・山田川)】 普通河川の改修、浚渫【竹原市、東広島市】		
	②ダムの事前放流等の体制構築、実施	広島県、東広島市	利水ダム等における事前放流の実施、体制構築(千丈ヶ原ダム、仁賀ダム)		
	③内水氾濫対策	竹原市	雨水排水施設の整備 【竹原市(賀茂川水系)】		
		呉市	農業用水利施設の整備		
	④雨水貯留機能の向上	呉市、竹原市、東広島市	雨水貯留施設の整備【竹原市】、貯留施設の低水位管理等【東広島市】 農地等の保全		
	⑤山地の保水機能の向上	広島県、森林整備センター	森林整備、治山事業		
⑥土砂流出対策	広島県	砂防堰堤等の整備			
被害対象を減少させるための対策	⑦水災害リスクを考慮したまちづくり・住まい方の工夫	呉市、竹原市、東広島市	防災指針策定 立地適正化計画の改定・運用		
		東広島市	開発許可の厳格化済 浸水ハザードエリア等における開発許可の厳格化の運用		
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	⑧ハザードマップの作成・周知	呉市、竹原市、東広島市、(広島県)	洪水ハザードマップ作成済【呉市、東広島市】 出前講座等にて周知		
	⑨高齢者等避難の実効性の確保	呉市、竹原市、東広島市	洪水・内水ハザードマップ作成 要配慮者利用施設の避難確保計画の作成及び活用の促進		
	⑩防災体制の強化	広島県、呉市、竹原市、東広島市	関係機関との各種連携		

気候変動を踏まえた
更なる対策を推進

プロジェクト進捗度の考え方

- PHASE1 流域の関係者が治水対策を進めている段階
- PHASE2 流域のあらゆる関係者が様々な治水対策を進めている段階
- PHASE3 流域で流量を分担するなどし、流域のあらゆる関係者が様々な治水対策を計画的に進めている段階

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

○平成30年7月豪雨をはじめとした近年の大規模な豪雨災害や、気候変動による豪雨の頻発化・激甚化が懸念されていることを踏まえ、事前防災対策を進める必要がある。

○堤防や河道掘削等河川整備のほか、田んぼダムやため池を活用した雨水の貯留などの流域対策を推進し氾濫をできるだけ防ぐ。

○氾濫した場合を想定して土地利用規制や居住誘導、不動産取引時のリスク情報提供などを実施することにより、被害対象を減少させる。

○河川情報の充実やハザードマップの作成・周知、出前講座の実施などにより、確実な避難や経済被害の軽減、早期復旧復興に努める。

■氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- ①洪水氾濫対策【広島県、呉市】
- ②ダム洪水調節機能の強化【広島県】
- ③内水氾濫対策【呉市】
- ④雨水貯留機能の向上【呉市】
- ⑤山地の保水機能の向上【広島県】
- ⑥土砂流出対策

等

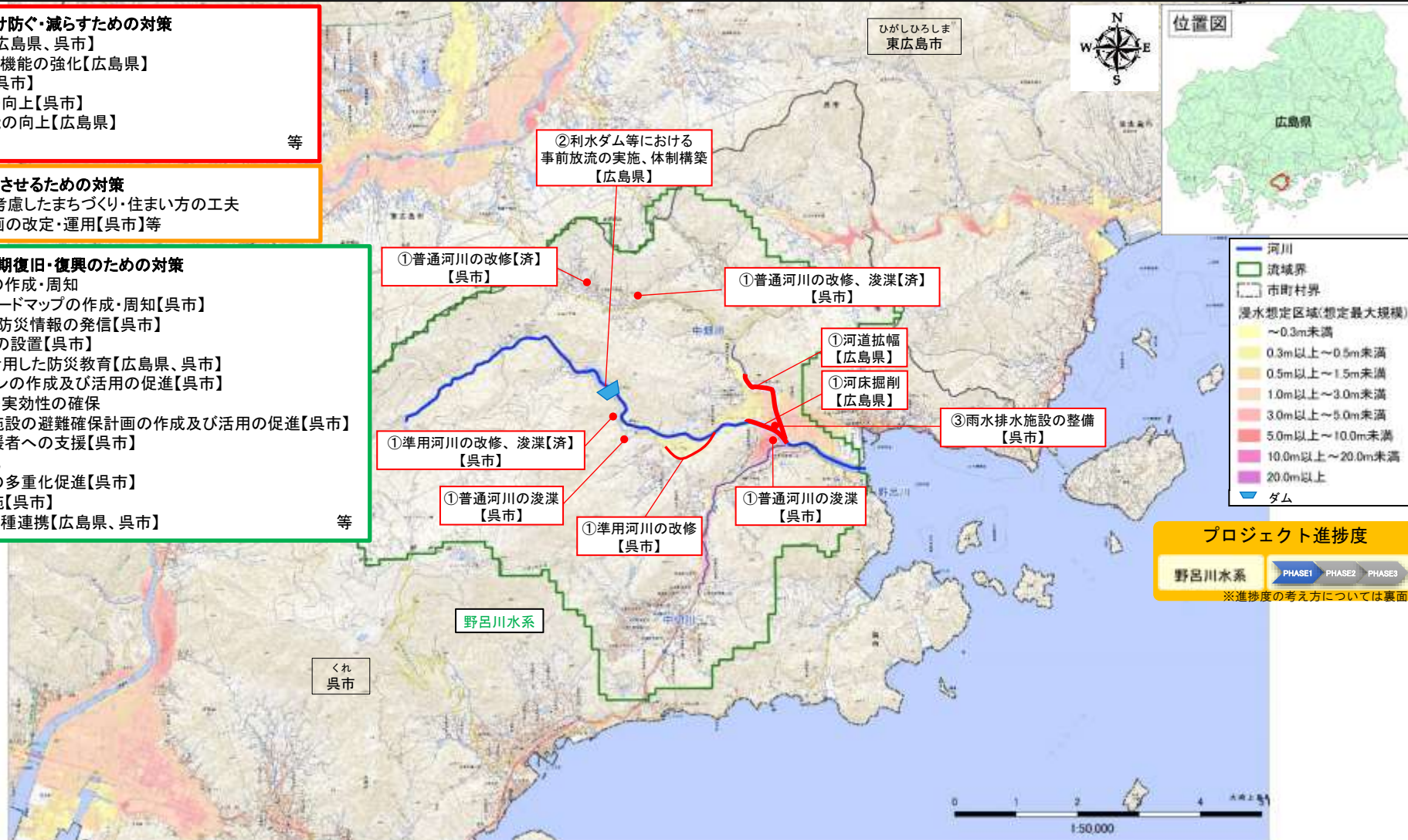
■被害対象を減少させるための対策

- ⑦水災害リスクを考慮したまちづくり・住まい方の工夫
- ・立地適正化計画の改定・運用【呉市】等

■被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- ⑧ハザードマップの作成・周知
 - ・洪水・内水ハザードマップの作成・周知【呉市】
 - ・3Dマップによる防災情報の発信【呉市】
 - ・河川監視カメラの設置【呉市】
 - ・出前講座等を活用した防災教育【広島県、呉市】
 - ・マイ・タイムラインの作成及び活用の促進【呉市】
- ⑨高齢者等避難の実効性の確保
 - ・要配慮者利用施設の避難確保計画の作成及び活用の促進【呉市】
 - ・避難行動要支援者への支援【呉市】
- ⑩防災体制の強化
 - ・情報伝達手段の多重化促進【呉市】
 - ・水防訓練の実施【呉市】
 - ・関係機関との各種連携【広島県、呉市】

等



プロジェクト進捗度

野呂川水系

PHASE1 PHASE2 PHASE3

※進捗度の考え方については裏面

- 野呂川では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、県、市、住民が一体となって次の手順で「流域治水」を推進する。
- 【短期】平成30年7月豪雨をはじめとした近年の大規模な豪雨災害に対し、再度災害防止を最優先として治水対策を実施。
- 【中期・中長期】更に流域全体の安全度を向上させるため、引き続き治水対策を実施。あわせて、立地適正化計画等に基づく水災害リスクを考慮したまちづくりの推進や、ハザードマップの作成・周知等、的確な避難行動につなげるためのソフト対策の充実を図る。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	①洪水氾濫対策	広島県	河床掘削(野呂川)	河道拡幅(中畑川)	
		呉市	準用河川、普通河川の改修、浚渫		
	②ダムの洪水調節機能の強化	広島県	操作規則の変更済(野呂川ダム)	利水ダム等における事前放流の実施、体制構築(野呂川ダム)	
	③内水氾濫対策	呉市	雨水排水施設の整備、耐水化		
		呉市	農業用水利施設の整備		
	④雨水貯留機能の向上	呉市	農地等の保全		
	⑤山地の保水機能の向上	広島県	森林整備、治山事業		
被害対象を減少させるための対策	⑦水災害リスクを考慮したまちづくり・住まい方の工夫	呉市	防災指針策定	立地適正化計画の改定・運用	
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	⑧ハザードマップの作成・周知	呉市、(広島県)	洪水ハザードマップ作成済	出前講座等にて周知	
	⑨高齢者等避難の実効性の確保	呉市	内水ハザードマップ作成	要配慮者利用施設の避難確保計画の作成及び活用の促進	
	⑩防災体制の強化	広島県、呉市	関係機関との各種連携		

気候変動を踏まえた
更なる対策を推進

プロジェクト進捗度の考え方

- PHASE1 流域の関係者が治水対策を進めている段階
- PHASE2 流域のあらゆる関係者が様々な治水対策を進めている段階
- PHASE3 流域で流量を分担するなどし、流域のあらゆる関係者が様々な治水対策を計画的に進めている段階

- 平成30年7月豪雨をはじめとした近年の大規模な豪雨災害や、気候変動による豪雨の頻発化・激甚化が懸念されていることを踏まえ、事前防災対策を進める必要がある。
- 堤防や河道掘削等河川整備のほか、田んぼダムやため池を活用した雨水の貯留などの流域対策を推進し氾濫をできるだけ防ぐ。
- 氾濫した場合を想定して土地利用規制や居住誘導、不動産取引時のリスク情報提供などを実施することにより、被害対象を減少させる。
- 河川情報の充実やハザードマップの作成・周知、出前講座の実施などにより、確実な避難や経済被害の軽減、早期復旧復興に努める。

■氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- ①洪水氾濫対策
- ②ダム等の洪水調節機能の強化※この水系にダムはありません。
- ③内水氾濫対策
- ④雨水貯留機能の向上【尾道市】
- ⑤山地の保水機能の向上【広島県、尾道市】
- ⑥土砂流出対策

等

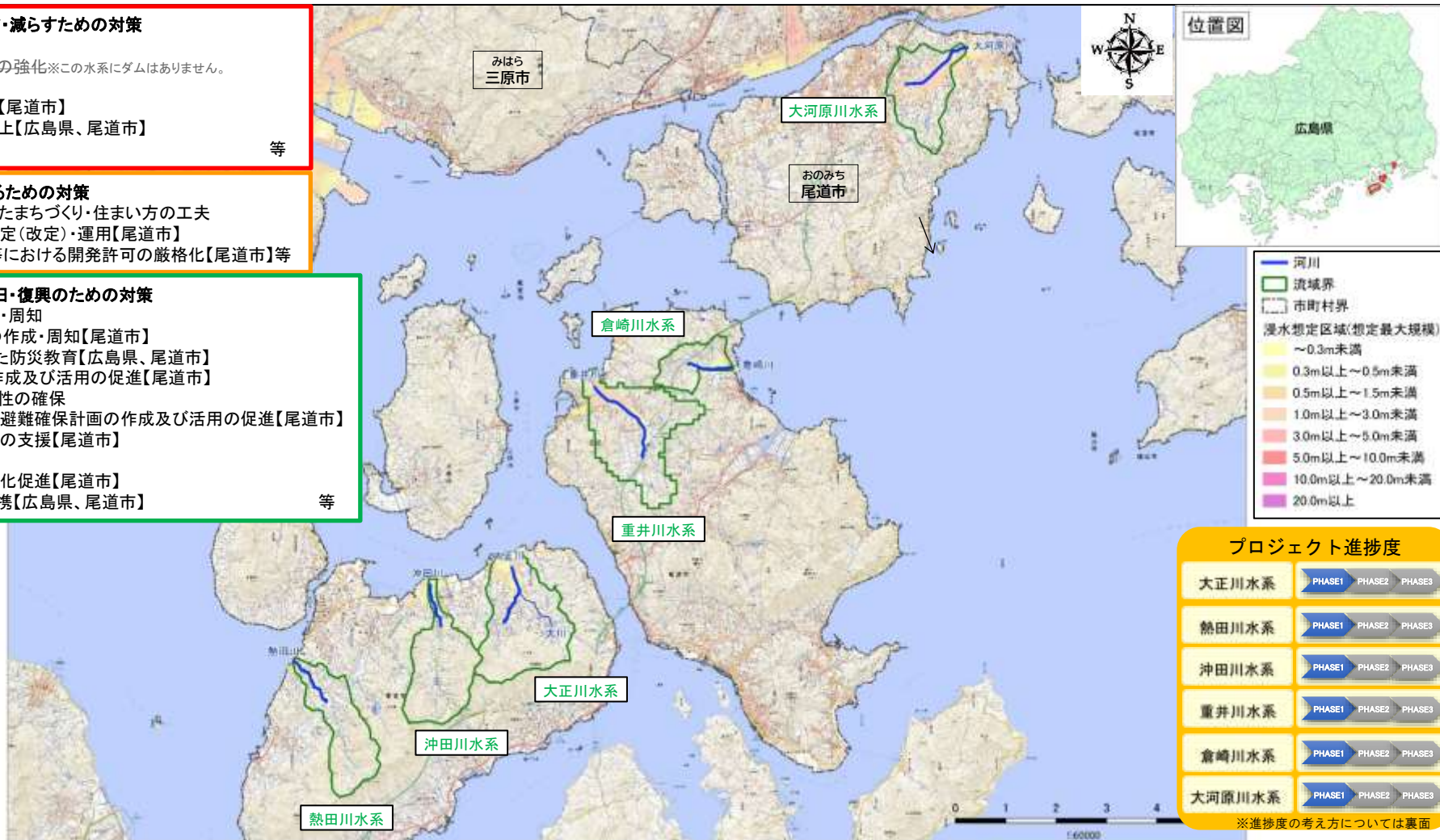
■被害対象を減少させるための対策

- ⑦水災害リスクを考慮したまちづくり・住まい方の工夫
- ・立地適正化計画の策定(改定)・運用【尾道市】
- ・浸水ハザードエリア等における開発許可の厳格化【尾道市】等

■被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- ⑧ハザードマップの作成・周知
- ・洪水ハザードマップの作成・周知【尾道市】
- ・出前講座等を活用した防災教育【広島県、尾道市】
- ・マイ・タイムラインの作成及び活用の促進【尾道市】
- ⑨高齢者等避難の実効性の確保
- ・要配慮者利用施設の避難確保計画の作成及び活用の促進【尾道市】
- ・避難行動要支援者への支援【尾道市】
- ⑩防災体制の強化
- ・情報伝達手段の多重化促進【尾道市】
- ・関係機関との各種連携【広島県、尾道市】

等



※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

○ 大正川・熱田川・沖田川・重井川・倉崎川・大河原川では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、県、市、住民が一体となって次の手順で「流域治水」を推進する。

【短期】平成30年7月豪雨をはじめとした近年の大規模な豪雨災害に対し、再度災害防止を最優先として治水対策を実施。

【中期・中長期】更に流域全体の安全度を向上させるため、引き続き治水対策を実施。あわせて、立地適正化計画等に基づく水災害リスクを考慮したまちづくりの推進や、ハザードマップの作成・周知等、的確な避難行動につなげるためのソフト対策の充実を図る。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	④雨水貯留機能の向上	尾道市	農地等の保全		
	⑤山地の保水機能の向上	広島県、尾道市	森林整備、治山事業		
被害対象を減少させるための対策	⑦水災害リスクを考慮したまちづくり・住まい方の工夫	尾道市	立地適正化計画の策定・運用		
		尾道市	浸水ハザードエリア等における開発許可の厳格化の運用		
		尾道市	洪水ハザードマップ作成済		
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	⑧ハザードマップの作成・周知	尾道市、(広島県)	出前講座等にて周知		
	⑨高齢者等避難の実効性の確保	尾道市	要配慮者利用施設の避難確保計画の作成及び活用の促進		
	⑩防災体制の強化	広島県、尾道市	関係機関との各種連携		

気候変動を踏まえた
更なる対策を推進。

プロジェクト進捗度の考え方

- PHASE1 流域の関係者が治水対策を進めている段階
- PHASE2 流域のあらゆる関係者が様々な治水対策を進めている段階
- PHASE3 流域で流量を分担するなどし、流域のあらゆる関係者が様々な治水対策を計画的に進めている段階

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

～頻発化・激甚化する豪雨からいのちを守る流域治水対策の推進～

- 平成30年7月豪雨をはじめとした近年の大規模な豪雨災害や、気候変動による豪雨の頻発化・激甚化が懸念されていることを踏まえ、事前防災対策を進める必要がある。
- 堤防や河道掘削等河川整備のほか、田んぼダムやため池を活用した雨水の貯留などの流域対策を推進し氾濫をできるだけ防ぐ。
- 氾濫した場合を想定して土地利用規制や居住誘導、不動産取引時のリスク情報提供などを実施することにより、被害対象を減少させる。
- 河川情報の充実やハザードマップの作成・周知、出前講座の実施などにより、確実な避難や経済被害の軽減、早期復旧復興に努める。

■氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- ①洪水氾濫対策【広島県、三原市、尾道市】
- ②ダム等の洪水調節機能の強化【藤井川沿岸土地改良区】
- ③内水氾濫対策【尾道市】
- ④雨水貯留機能の向上【三原市、尾道市】
- ⑤山地の保水機能の向上【広島県、尾道市、森林整備センター】
- ⑥土砂流出対策

■被害対象を減少させるための対策

- ⑦水災害リスクを考慮したまちづくり・住まいの工夫
 - ・立地適正化計画の策定(改定)・運用【福山市、尾道市】
 - ・浸水ハザードエリア等における開発許可の厳格化【尾道市、福山市】
 - ・止水板の設置補助【福山市】

止水板設置補助金制度



■被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- ⑧ハザードマップの作成・周知
 - ・洪水・内水ハザードマップの作成・周知【三原市、尾道市、福山市】
 - ・出前講座等を活用した防災教育【広島県、三原市、尾道市、福山市】
 - ・マイ・タイムラインの作成及び活用の促進【三原市、尾道市、福山市】
- ⑨高齢者等避難の実効性の確保
 - ・要配慮者利用施設の避難確保計画の作成及び活用の促進【三原市、尾道市、福山市】
 - ・避難行動要支援者への支援【三原市、尾道市、福山市】
- ⑩防災体制の強化
 - ・情報伝達手段の多重化促進【尾道市、福山市】
 - ・水防訓練の実施【福山市】
 - ・関係機関との各種連携【広島県、三原市、尾道市、福山市】

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。



- 藤井川・栗原川・大田川では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、県、市、住民が一体となって次の手順で「流域治水」を推進する。
- 【短期】平成30年7月豪雨をはじめとした近年の大規模な豪雨災害に対し、再度災害防止を最優先として治水対策を実施。
- 【中期・中長期】更に流域全体の安全度を向上させるため、引き続き治水対策を実施。あわせて、立地適正化計画等に基づく水災害リスクを考慮したまちづくりの推進や、ハザードマップの作成・周知等、的確な避難行動につなげるためのソフト対策の充実を図る。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	①洪水氾濫対策	広島県	河川改修(大田川)・高潮対策(藤井川)		
		三原市、尾道市	普通河川の改修【三原市(藤井川水系)、尾道市(栗原川水系)】 普通河川の浚渫【三原市(藤井川水系)、尾道市(大田川水系)】		
	②ダムの洪水調節機能の強化	藤井川沿岸土地改良区	利水ダム等における事前放流の実施、体制構築(竜泉寺ダム)		
	③内水氾濫対策	尾道市	雨水排水施設の整備(栗原川水系)		
	④雨水貯留機能の向上	三原市、尾道市	農地等の保全		
	⑤山地の保水機能の向上	広島県、尾道市、森林整備センター	森林整備、治山事業		
被害対象を減少させるための対策	⑦水災害リスクを考慮したまちづくり・住まい方の工夫	福山市、尾道市	立地適正化計画の策定・運用【尾道市】		
		尾道市、福山市	浸水ハザードエリア等における開発許可の厳格化の運用		
		福山市	開発許可の厳格化済		
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	⑧ハザードマップの作成・周知	三原市、尾道市、福山市、(広島県)	洪水ハザードマップ作成【三原市、福山市】		
			出前講座等にて周知		
	⑨高齢者等避難の実効性の確保	三原市、尾道市、福山市	洪水ハザードマップ作成済【尾道市】		
			内水ハザードマップ作成【福山市】		
	⑩防災体制の強化	広島県、三原市、尾道市、福山市	要配慮者利用施設の避難確保計画の作成及び活用の促進		
			関係機関との各種連携		

気候変動を踏まえた
更なる対策を推進

プロジェクト進捗度の考え方

- PHASE1 流域の関係者が治水対策を進めている段階
- PHASE2 流域のあらゆる関係者が様々な治水対策を進めている段階
- PHASE3 流域で流量を分担するなどし、流域のあらゆる関係者が様々な治水対策を計画的に進めている段階

- 平成30年7月豪雨をはじめとした近年の大規模な豪雨災害や、気候変動による豪雨の頻発化・激甚化が懸念されていることを踏まえ、事前防災対策を進める必要がある。
- 堤防や河道掘削等河川整備のほか、田んぼダムやため池を活用した雨水の貯留などの流域対策を推進し氾濫をできるだけ防ぐ。
- 氾濫した場合を想定して土地利用規制や居住誘導、不動産取引時のリスク情報提供などを実施することにより、被害対象を減少させる。
- 河川情報の充実やハザードマップの作成・周知、出前講座の実施などにより、確実な避難や経済被害の軽減、早期復旧復興に努める。

■氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- ①洪水氾濫対策【広島県、尾道市、福山市】
- ②ダム・洪水調節機能の強化※この水系にダムはありません。
- ③内水氾濫対策【福山市】
- ④雨水貯留機能の向上【尾道市、福山市】
- ⑤山地の保水機能の向上【広島県、尾道市、森林整備センター】
- ⑥土砂流出対策等

■被害対象を減少させるための対策

- ⑦水災害リスクを考慮したまちづくり・住まい方の工夫
 - ・立地適正化計画の策定(改定)・運用【福山市、尾道市】
 - ・浸水ハザードエリア等における開発許可の厳格化【尾道市、福山市】
 - ・止水板の設置補助【福山市】

■被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- ⑧ハザードマップの作成・周知
 - ・洪水・内水ハザードマップの作成・周知【尾道市、福山市】
 - ・出前講座等を活用した防災教育【広島県、尾道市、福山市】
 - ・マイ・タイムラインの作成及び活用の促進【尾道市、福山市】
- ⑨高齢者等避難の実効性の確保
 - ・要配慮者利用施設の避難確保計画の作成及び活用の促進【尾道市、福山市】
 - ・避難行動要支援者への支援【尾道市、福山市】
- ⑩防災体制の強化
 - ・情報伝達手段の多重化促進【尾道市、福山市】
 - ・水防訓練の実施【福山市】
 - ・関係機関との各種連携【広島県、尾道市、福山市】

等



止水板設置補助金制度

自宅や店舗等へ止水板の設置をお考えの方へ

最大 50 万円の補助が受けられます！

止水板とは

洪水発生時に設置する止水板は、河川の氾濫を防ぐ効果があります。また、洪水発生時に設置する止水板は、河川の氾濫を防ぐ効果があります。

対象事業

洪水発生時に設置する止水板の設置、止水板の設置、止水板の設置

洪水発生時に設置する止水板の設置、止水板の設置、止水板の設置

洪水発生時に設置する止水板の設置、止水板の設置、止水板の設置

洪水発生時に設置する止水板の設置、止水板の設置、止水板の設置

洪水発生時に設置する止水板の設置、止水板の設置、止水板の設置

洪水発生時に設置する止水板の設置、止水板の設置、止水板の設置

洪水発生時に設置する止水板の設置、止水板の設置、止水板の設置

洪水発生時に設置する止水板の設置、止水板の設置、止水板の設置

洪水発生時に設置する止水板の設置、止水板の設置、止水板の設置

洪水発生時に設置する止水板の設置、止水板の設置、止水板の設置

洪水発生時に設置する止水板の設置、止水板の設置、止水板の設置

洪水発生時に設置する止水板の設置、止水板の設置、止水板の設置

洪水発生時に設置する止水板の設置、止水板の設置、止水板の設置

洪水発生時に設置する止水板の設置、止水板の設置、止水板の設置

洪水発生時に設置する止水板の設置、止水板の設置、止水板の設置

洪水発生時に設置する止水板の設置、止水板の設置、止水板の設置

洪水発生時に設置する止水板の設置、止水板の設置、止水板の設置

洪水発生時に設置する止水板の設置、止水板の設置、止水板の設置

洪水発生時に設置する止水板の設置、止水板の設置、止水板の設置

洪水発生時に設置する止水板の設置、止水板の設置、止水板の設置

洪水発生時に設置する止水板の設置、止水板の設置、止水板の設置

洪水発生時に設置する止水板の設置、止水板の設置、止水板の設置

洪水発生時に設置する止水板の設置、止水板の設置、止水板の設置

洪水発生時に設置する止水板の設置、止水板の設置、止水板の設置

洪水発生時に設置する止水板の設置、止水板の設置、止水板の設置

洪水発生時に設置する止水板の設置、止水板の設置、止水板の設置

洪水発生時に設置する止水板の設置、止水板の設置、止水板の設置

洪水発生時に設置する止水板の設置、止水板の設置、止水板の設置

洪水発生時に設置する止水板の設置、止水板の設置、止水板の設置

洪水発生時に設置する止水板の設置、止水板の設置、止水板の設置

洪水発生時に設置する止水板の設置、止水板の設置、止水板の設置

洪水発生時に設置する止水板の設置、止水板の設置、止水板の設置

洪水発生時に設置する止水板の設置、止水板の設置、止水板の設置

○ 本郷川・羽原川・新川・山南川・才戸川・本谷川では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、県、市、住民が一体となって次の手順で「流域治水」を推進する。

【短期】平成30年7月豪雨をはじめとした近年の大規模な豪雨災害に対し、再度災害防止を最優先として治水対策を実施。

【中期・中長期】更に流域全体の安全度を向上させるため、引き続き治水対策を実施。あわせて、立地適正化計画等に基づく水災害リスクを考慮したまちづくりの推進や、ハザードマップの作成・周知等、的確な避難行動につなげるためのソフト対策の充実を図る。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	①洪水氾濫対策	広島県、 (福山市)	河川改修(羽原川)→河川改修(本郷川、新川【福山市の堰の改築含む】)		
		尾道市、福山市	普通河川の浚渫【福山市】	普通河川の改修【福山市・尾道市】	
	③内水氾濫対策	福山市	雨水排水施設の整備、耐震化・耐水化→雨水排水施設の長寿命化		
	④雨水貯留機能の向上	福山市	雨水貯留施設の整備		
		尾道市、福山市	農地等の保全		
		福山市	農業用ため池の改良		
	⑤山地の保水機能の向上	広島県、尾道市、 森林整備セン ター	森林整備、治山事業		
被害対象を減少さ せるための対策	⑦水災害リスクを考慮したま ちづくり・住まい方の工夫	福山市、尾道市	防災指針策定 【福山市】	防災指針策定 【尾道市】	
		福山市、尾道市	立地適正化計画の策定・運用 【尾道市】→立地適正化計画の改定・運用		
		尾道市、福山市	開発許可の厳格化済→浸水ハザードエリア等における開発許可の厳格化の運用		
		福山市	止水板の設置補助		
被害の軽減、早期 復旧・復興のため の対策	⑧ハザードマップの作成・周 知	尾道市、福山市、 (広島県)	洪水ハザードマップ作成【福山市】	出前講座等にて周知	
		尾道市、福山市	洪水ハザードマップ作成済【尾道市】	内水ハザードマップ作成【福山市】	
	⑨高齢者等避難の実効性の確 保	尾道市、福山市	要配慮者利用施設の避難確保計画の作成及び活用の促進		
	⑩防災体制の強化	広島県、尾道市、 福山市	関係機関との各種連携		

気候変動を踏まえ、
更なる対策を推進

プロジェクト進捗度の考え方

- PHASE1 流域の関係者が治水対策を進めている段階
- PHASE2 流域のあらゆる関係者が様々な治水対策を進めている段階
- PHASE3 流域で流量を分担するなどし、流域のあらゆる関係者が様々な治水対策を計画的に進めている段階